



特集 長浜市GIGAスクール構想

ICTで変わる子どもたちの学び



【GIGAスクール構想】GIGAとは、Global & Innovation Gateway for All の略。全員がグローバル(国際舞台)とイノベーション(革新的創造)の扉を開けることのできる学校にしていくという方針を示しています。

インターネットで調べ物をしたり、SNSでコミュニケーションをとったりするなど、日常的にICT(情報通信技術)を活用する世の中になり、パソコンやスマートフォンなどといった情報端末は、私たちの生活に欠かせないツールとなりました。

また近年のコロナ禍では、リモートワークや在宅ワーク、オンライン会議など、ICTが社会全体に急速に浸透しました。

今後はICTを活用した情報収集やコミュニケーションだけでなく、情報を解析する人工知能(AI)などの先端技術を産業や社会生活に取り入れることで経済を発展させ、様々な社会的課題を解決していく社会「Society 5.0(超スマート社会)」が到来するといわれています。

未来を担う子どもたちに求められるのは、変化が激しく予測困難なこれからの社会をたくましく生き抜くために必要な資質・能力を身に付けることであり、その力を育むためにもICTを活用した教育が必要とされています。

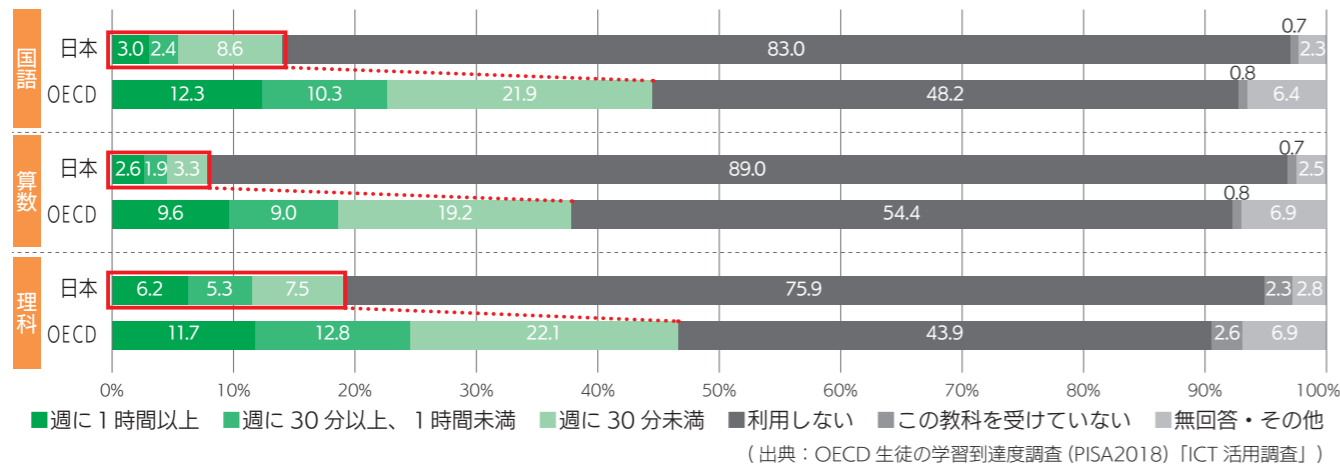
GIGAスクール構想とは

文部科学省が発表した学校教育でのICT環境整備に関する計画で、児童生徒1人1台の学習用端末(パソコンやタブレット)と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現をめざすものです。

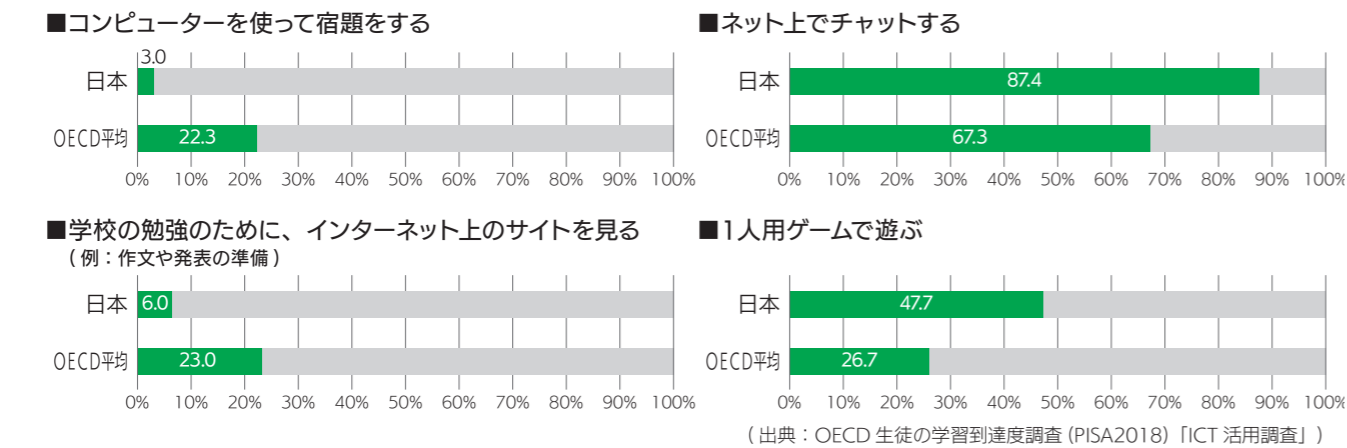
この構想の背景には、わが国の学校教育におけるICT活用の現状が世界から遅れているという状況があります。学校のICT環境整備が十分ではなく、学校の授業でのデジタル機器の使用時間(図1)はOECD(経済協力開発機構)加盟国で最も短く、最下位となっています。

また、学校外での使用(図2)についても、チャットやゲームなど学習以外の使用が多い傾向にあります。今後は情報活用能力の育成を図るとともに、ICT環境の整備、それを活用した学習活動の充実を推進する必要があります。

●1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を利用する時間(図1)



●学校外での平均のデジタル機器の利用状況(図2)(OECD平均は「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



市が導入している学習支援ソフト「ロイロノート・スクール」

「ロイロノート・スクール」はすべての授業で使える学習支援ソフトです。簡単に自分の考えをまとめ、発表することができるので、生徒たちが自ら考え表現できる機会を増やすことができ、「思考力」「判断力」「表現力」を育成する上で大変有効な学習ツールです。



社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなり、さらに、今後、技術革新がますます加速する時代を生き抜いていく子どもたちにとって、情報端末(タブレット等)は特別なものではない、学習に欠かせない「新しい文房具」となります。

本市では、これまでの教育実践とICTの活用を適切に組み合わせ、子どもたちの学び続けようとする意欲や豊かな創造性、様々な人と協働しながら問題発見・解決に挑む資質・能力を育てていきます。

長浜市版 GIGAスクール構想